



## 新年あけましておめでとうございます！

2022年が始まりました。昨年も一昨年に続きコロナ禍に振り回された1年でした。その中で、今年度は小学生と中学生と一緒に新しい校舎で学び始めた記念すべき1年でした。今年はその学びをつなぎ、令和4年度の4月からは義務教育学校「下北山小中学校」としてスタートします。今年が寅年です。寅年は過去の事例をさかのぼると、初めての出来事が多く起こっているようで、その芽吹いたものが大きく成長していく年になっているようです。義務教育学校「下北山小中学校」の開校にふさわしい年であると言えるのではないのでしょうか。9年間の学びをつないでいく最初の年として児童・生徒・教職員が一丸となってしっかりと歩み始めたいと思います。

昭和60年に開校した下北山小学校、昭和39年に開校した下北山中学校は令和3年度末の今年3月が最後になります。残りの3ヶ月を一人一人が充実した学校生活でしめくり、有終の美を飾って欲しいと思います。



小学6年生は下北山小学校卒業生425人の最後、第36期卒業生、中学3年生は下北山中学校卒業生1486人の最後、第58期卒業生となります。特に中学3年生は4月からは村を離れ、新しい環境の中で生活することになると思います。残された下北山村での3ヶ月の学校生活を精一杯全力で過ごし、4月からは未来に向かって大きく羽ばたいてくれることを期待します。

雪の少ない下北山村にも1月6日に雪が降りました。朝、目を覚ますと静寂の中、一面真っ白な雪景色で、心が洗われるようでした。大自然の中では人間の力は微力ですが、通勤途中に見えてきた校舎は雪化粧した山の中に静かにどっしりと佇んでおり、とても力強く頼もしく感じられました。

## 書き損じはがきご協力お願いします！！

世界には学校に行けない子どもが約1億2,100万人（うち初等教育では約5,900万人）、文字の読み書きができない大人（15歳以上の成人）が約7億7,300万人（2021年11月現在）います。

1989年に開始した「ユネスコ世界寺子屋運動」は、基本的人権として、年齢、宗教、性別にかかわらず、すべての人が公平に教育の機会を得られるように、無償で学ぶ機会を応援する活動で、SDGs（持続可能な開発目標）である「貧困を無くそう」「質の高い教育をみんなに」の達成に向けた取組として、世界各地の貧困地域で「学ぶ場＝寺子屋」を通して人材を育成し、持続可能な社会づくりにもつながっています。

書き損じはがき回収にご協力頂ける方は、年賀はがき当選発表が1月16日ですので、17日以降にお子さまを通して学校までお願いします。



1月	行事予定(共通) 小学校 中学校
1日(土)	
3日(月)	
7日(金)	
10日(月)	
11日(火)	
12日(水)	
13日(木)	
14日(金)	
17日(月)	
19日(水)	
20日(木)	
21日(金)	
23日(日)	
24日(月)	
25日(火)	
26日(水)	
27日(木)	
31日(月)	